

今年度の取組における参考事例

高まる

広がる

校内研究

を目指して

校内研究主任を核とした組織的な取組の実際を知りたいときは

I 「校内研究プランシート」の活用

校内研究主任が、各回の校内研究会を計画・評価することにより、各分掌と連携を図りながら校内研究を実施・改善することができます。



校内研究プランシート

どんな研修をすればよいか迷ったときは

V 教員のニーズに応じた校内研修会

教員のニーズに応じた校内研修会を実施することにより、それぞれの教員の強みを生かしながら互いの学びの場を設定することができます。



教員の強みを生かした研修会

一人ひとりの教員の校内研究会と日々の授業を結び付けたいときは

II 「授業アップデートシート」の活用

一人ひとりの教員が校内研究会における自分の目的や成果を整理したり、校内研究会での学びを日々の授業に結び付けたりすることで、継続的な授業改善につながります。



授業アップデートシート

コロナ禍で研究会の開催に悩むときは

VI コロナ禍でも学び続けるための授業研究会の工夫

同学年の全学級が同時に授業を公開し、グループごとに参観および授業研究会を実施することにより、密を避けて授業研究会を行うことができます。



グループに分かれての授業研究会

校内研究会におけるICT機器の効果的な使い方を知りたいときは

III ICTを活用した授業研究会

協働支援ツールを活用した授業研究会、教師用端末で記録した動画を基にした授業研究会など、教員が自分に適した方法で学び続けることができます。



ICTを活用した授業参観

全ての教員で研究に取り組みたいときは

VII 全ての教員で研究を進めるための取組

研究授業の授業づくりにより全ての教員が参画できるように工夫したり、事前に授業研究会の内容や目的、協議の視点を示しておくことにより、自分の役割を自覚して校内研究に取り組むことができます。



アイデアを書き込む教員

全体研究会の時間が確保できないときは

IV 小集団での授業研究会

小集団で行うと、全員が行う研修会と比べて、時間や日程の調整がしやすいため、授業研究会を頻繁に開催することができ、課題解決を図る学びの場が増えます。



グループでの研究協議

校内研究と授業を結び付けたいときは

VIII 校内研究と授業を結び付けるための環境整備

研究通信を発行したり、子どもたちの学習環境を整えたりすることにより、校内研究での成果と課題を共有したうえで全ての教員で共通して実践することができます。



量(重さ)についての展示物



小・中学校の教員の皆様へ

よりよい授業づくりに
向けて一緒に取り組み
ましょう！！



滋賀県総合教育センター
「センターン」

プロジェクト研究実践校の研究委員（校内研究主任）の声



「校内研究プランシート」を用いることで、各回の校内研究会の目的を明確にし、得られた成果と課題を次回の研究会に生かすことができました。夏休みには1学期の取組を振り返り、管理職の先生と話し合いの場をもったことで、2学期の取組が更に深まりました。



目指す方向を共有できる仲間を増やして、全ての教員に組織的に広げていくことが大切だと思います。併せて、管理職の先生からアドバイスをいただきながら研究を進めていくことも大切だと感じました。

プロジェクト研究実践校の教員の声



「授業アップデートシート」に記入することで、授業研究会での他教科からの学びを継続的に自分の授業に生かし、授業改善を図ることができました。



授業研究会が終わってすぐに「授業アップデートシート」を使って振り返りを行うことで、授業研究会を自分のこととして捉えることができました。そのことで、研究会での学びを自分の授業に生かすためにはどうするとよいか考え、実践を積み重ねることができました。

研究内容・実践事例はこちら

滋賀県総合教育センター 令和3年度研究成果情報

検索

<https://www.shiga-ec.ed.jp/www/contents/1642981556956/index.html>



「校内研究プランシート」で、校内研究の活性化を！

「授業アップデートシート」で、学び続ける教員に！

校内研究主任：今までの校内研究は、教員がそれぞれに取り組んでいた感じがするなあ。校内研究主任になったけれど、どんなことに気を付けたいかな。

校内研究主任：まずは、全ての教員で目指す児童生徒の姿を共有し、それに照らし合わせながら校内研究の方向や具体的な手立てを共通理解するといいですよ。

校内研究主任：なるほど…。では、具体的にどんなことから始めればいんですか？



教員：私は授業に関する自分の課題を解決しながら、子どもたちと一緒によりよい授業をつくりたいな。

教員：中学校では、担当教科ではない教科の授業研究会からの学びはあるのかなあ。

校内研究主任：授業に関する自分の強みや課題が違うので、校内研究会での学びが違うし…一人ひとりの教員が、学んだことを日々を生かすにはどうすればいいかな。

「授業アップデートシート」では、一人ひとりの教員が、授業に対する自分の強みや課題を整理し、自分のめあてをもって各回の校内研究会に参加します。校内研究会での学びを生かして実践し、振り返り、新たなめあてにつなげることで継続的な授業改善を目指します。

「校内研究プランシート」では、学校の教育目標を踏まえた児童生徒の実態や校内研究の方向、具体的な手立て等を整理します。校内研究会を計画・実施し、成果と課題について振り返ることで、校内研究会を評価・改善することができます。校内研究主任が、管理職や校内の各分掌と連携を図りながら校内研究を推進することで、組織的に校内研究を進めることができます。

POINT①
学校教育目標や校内研究の主題などを意識することで、校内研究の方向を確かめながら推進します。

POINT②
取組状況を管理職と共有することで、組織としての校内研究を評価・改善して次の学期の取組に生かします。

POINT①
授業改善を目指す教員は、日々の授業と結び付けて取り組むため、校内研究会での学びをなるべく具体的に記入します。

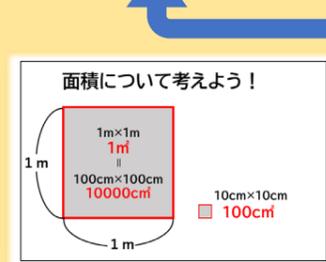
POINT②
校内研究主任は、教員の強みを生かしたり、同じ課題をもつ教員同士をつないだりすることで、学び合える場を設定します。

(A小学校)校内研究プラン				
学校教育目標		児童生徒の実態		
自ら学び、心豊かにたくましく生きようとする子どもの育成		高学年で一生懸命に何事にも取り組むことができる。自分の力で物事に挑戦し、達成感ややりがいを感じる。		
目指す児童生徒の姿		めあてをもって学習する姿、書くことが好きな姿、よく考えて説明できる姿、自分から学ぶ姿勢		
校内研究主題 「わかる・できる・楽しい」が実感できる授業を目指して～子どもの意識の流れと手立てを大切にしたい～				
重点的に育成を目指す資質・能力 算数科における基礎学力の定着				
月	校内全体の取組	研究主題に基づいた校内研究・校内研修の内容	研究・研修の目的	成果と課題
4月	基礎学力向上のために、算数科の授業づくりを推進する。授業づくり部会を火曜日の15分間で行う。	4月14日(水) 校内研究会① 26日(月) 授業づくり委員会 21日(金) シート作成	○「児童が(長さ・広さ・重さなど)についての感覚を豊かにするための環境を整えることが必要だ」と全ての教員で共有できた。	○昨年度の研究成果と課題を踏まえ、児童の実態や目指す児童の姿を具体的に挙げながら、全員で授業づくりについてイメージすることができた。 ○「読み聞かす」を推進する場がたくさん見られる授業を考えたこと、全員で行う研究会を通して共有することができた。
5月	☆「学びづくり部」が中心となって、掲示板等の環境を整える。 ⇒量の大きさを実感できる掲示物や展示物を作成する。	17日(月) 授業づくり委員会 指導案検討 21日(金) 3年3組 24日(月) 2年2組事前授業	○「児童が(長さ・広さ・重さなど)についての感覚を豊かにするための環境を整えることが必要だ」と全ての教員で共有できた。	○子どもが操作できる拡大版 ▲本時の課題の意味 ▲指導の順番について ▲交流の工夫

全ての教員で、校内研究主題など目指すものを常に意識して取り組むことが大切です！

校内研究主任は、それぞれの教員の学びや課題を把握することで、次の研究会に生かしましょう。

①校内研究会の成果を明確にします。



各分掌で話し合われたことを、全ての教員が共通理解して取り組むことにより、児童の量についての感覚を大切にしようという教員の意識が高まりました。

授業アップデート					
氏名 []					
校内研究主題 目指す児童生徒の姿 重点的に目指す資質・能力					
授業に関する自分の強み・課題 強み ○ICTの活用 ○時間の学習の足あとが分かる板書 課題 △話しすぎてしま					
日付	校内研究授業実践	自分のめあて 今、気になっていること	学んだこと (印象深い児童生徒の様子、新たな知見など)	実践する 学んだことを生かして取り組みたいこと(時・場・方法など)	振り返る 実践を振り返り、成果や進捗状況を確認することで、授業改善につなげることができます。
4/14(水)	校内研究会①	・本校の研究主題をつかむ。 ・自分の役割や分担を確認する。	・「読み聞かす」を推進する場がたくさん見られる授業を見た。 ・授業づくりのステップが分かった。	③ 子どもの意識の流れを大切にしたい。 ④ 成果・進捗状況など	・発問や学習課題についてより考えるようになった。 ・5月の2年生の研究授業に積極的に参加し、学んだことを自分の授業の中で実践している。
5/26(水)	授業研究会② 2年生の授業研究会	⑤ 本時のねらいにせまる発問	・本時のねらいをしっかりと意識できた。 ・「めあて」に合わせて、自分の言葉で振り返りを書くことができた。	・児童が「やりたい」「考えたい」と思えるような課題・問題にする。 ・既習の学習との関連や今後の学習への発展など、学びのつながりを意識したい。 ・音読や児童が量感を意識できるように指導や関わりを大切にしたい。	・学年の児童にとってより身近な課題や問題にするようにしている。 ・単元の系統性を確認するようになった。 ・量感に関する具体物を作成する。
6/16(水)	授業研究会③	自分のめあて 校内研究会や自分の取組に向けてめあてをもつことで、現在の課題を意識することができま	学んだこと 学びを整理することで、自分の授業に生かす視点を得ることができま	実践する 学んだことを生かして取り組みたいことを計画します。そのことで、授業実践に生かすことができま	振り返る 実践を振り返り、成果や進捗状況を確認することで、授業改善につなげることができま

①授業に関する自分の課題を意識します。 ②学んだことを整理し、自分の授業に生かす視点を得ます。 ③取り組みたいことを計画し、日々の授業に結び付けて実践します。 ④実践の振り返りを行い、成果を明らかにします。 ⑤次の校内研究会のめあてにつなげます。

子どもの発言を生かしたり、子どもの思考を促したりするような発問について考えるようになりました。
1人1台端末の活用による生徒の考えの共有など、担当教科でも実践したいです。